



字如特而黃豎皆善五回  
 香花斗豈似以顏色深成  
 不見墨點露花風兼清氣  
 偏美然則以萬筆五物早  
 草時牡丹物也仲泰即五  
 物今舍性黃任二子狂石  
 卦動五惜花苦茶紫藤苦  
 孤管旁慎香早笑菊身午  
 紫苑菊輝序荷芍黃寫生之  
 妙難則成集二子亦則自有竹  
 本勢意試與古畫西四香花平  
 以指畫其數者身香以指畫其數  
 者乃自 大日華志撰跡見氏始  
 吳

明正十稿七月是日一史寫年誌

跡見花蹊 四季花卉图

跡見学園 ― 一三〇年の伝統と創造

# 創立一三〇年を迎えて



跡見学園理事長 跡見純弘

今年、平成十七年(二〇〇五)は、明治八年(一八七五)に跡見学校が開かれてよりちょうど一三〇年となります。この記念すべき年を迎えられたことを、跡見学園にゆかりある、すべての皆様方とともに、心より喜び祝いあいしたいと思います。

かえりみれば、跡見学園が今日あるのは、明治維新と第二次世界大戦という二つの激動する社会をそれぞれに見据え、そこに女子教育の重要性があることを注視していちはやくその実現の任に当たられ、またそれを受容して研鑽を重ねてこられた、先人たちの大いなる情熱とたゆまぬ努力とによるものであります。そうした皆様に感謝の誠を献げます。

私は縁あつて昭和六十二年(一九八七)に理事長に就任いたしました。日本経済は厳しさを増し、少子化が進んで教育界は生き残り策を求め努力してきましたが、その状況は今日も変わっていません。当学園は施設・設備の改善、教育内容の充実、組織機構の改革と一体化などをはかつて今日に至りましたが、さらに短期大学部改革にもなう大学の学科増設、そして大学院の新設を進めているところであります。

跡見学園の今後の発展が期待される今、学園の足跡を確かめて指針を明らかにすべく、ここに学園史を上梓することといたしました。学園関係者はもとより、広く跡見学園にお心を寄せてくださる方々が、この一書によって御理解を深めてくだされば幸いです。

## 目次

口絵 跡見花蹊「四季花卉図」  
創立一三〇年を迎えて…… 跡見純弘

## 第一部 跡見花蹊の創意

### 跡見学校開校前史 | 15

- 1 跡見家 | 15
  - 2 若き日の跡見花蹊 | 15
  - 3 尊王攘夷の嵐 | 18
  - 4 花蹊の上京 | 19
  - 5 女教院 | 21
  - 一 明治期の跡見女学校 | 24
    - 1 明治女学はじめ | 24
    - (1) 跡見学校―教科の特色 | 25
    - (2) 学校生活 | 27
  - 2 柳町への移転 | 29
    - (1) 新校舎 | 29
    - (2) 第一回卒業式 | 31
    - (3) お塾の生活 | 33
- 跡見学校と「お塾」 | 34

### 3 学校体制の整備 | 36

- (1) 校則の改正 | 36
  - (2) 当時の教科書、校風 | 38
  - (3) 修学旅行と遠足 | 41
  - (4) 校友会の発足 | 43
  - (5) 厚徳会のことなど | 44
- ### 二 大正・昭和初期の跡見女学校 | 48
- 1 学校の発展と充実 | 48
    - (1) 校舎の改築 | 48
    - (2) 校服の制定 | 49
    - (3) 高等女学校と同等の学力と認められる | 50
    - (4) 二代目校長跡見李子 | 51
    - (5) 白子に土地入手 | 52
    - (6) 開校五〇年記念式典 | 53
    - (7) 花蹊逝く(教育・書画) | 54
  - 花蹊と絵画 | 56
  - 花蹊と書 | 58
  - 2 大塚への移転 | 59
    - (1) 校舎移転への動き | 59
    - (2) 洋装校服の制定 | 61
    - (3) 校旗 | 62

- (4) 桜観世音菩薩像の造立 | 63
  - (5) 花蹊・李子胸像の制作 | 64
  - (6) 大塚新校舎 | 65
  - (7) 新しい寄宿舎 | 68
  - (8) 六〇周年記念式典 | 69
- 3 戦時下の跡見女学校 | 69
- (1) 愛国子女団の結成と勤労奉仕 | 69



花蹊の素描画より

## 第二部 新しい学制のもとでの展開

- (2) 報国団結成 | 71
- (3) 錬成会 | 72
- (4) 学徒動員 | 75
- (5) 高等女学校となる | 76
- (6) 学校工場 | 77
- (7) 空襲と被災 | 78
- (8) 終戦 | 80

- 一 学校法人の発足 | 83
- 1 復興に尽くした人々 | 83
- 2 学制改革 | 85
- 3 学園の拡充 | 87
- 4 学校法人として発足 | 89
- 5 施設の整備 | 90
- 6 跡見李子逝去 | 92
- 7 飯野理事長の就任 | 93
- 8 法人棟の建設 | 95
- 9 創立一〇〇周年記念式典 | 95
- 10 伊地知辰夫理事長の就任 | 96
- 11 校友会・後援会 | 97

二 中等教育機関としての成果 | 102

1 中学校高等学校の発足と戦後の改革 | 102

- (1) 中学校高等学校の発足 | 102
- (2) 被災校舎の再建 | 103
- (3) PTAの結成 | 105
- (4) 生徒会の発足 | 107
- (5) 花蹊・李子胸像の再建 | 108
- (6) カリキュラムの改訂 | 108



花蹊の素描画より

(7) 夏季行事・冬季行事 | 110

(8) 生徒会クラブ発表会 | 111

(9) 高等学校校服の改定 | 112

(10) 『汲泉』の復刊 | 114

(11) 図書館の開設 | 116

2 学校体制の整備 | 117

(1) 飯野保校長の就任 | 117

(2) 施設の整備 | 119

(3) 昭和三十年代のカリキュラム改訂 | 120

(4) 修学旅行 | 122

(5) 横田正次校長の就任 | 123

(6) 自然教室のはじまり | 124

(7) カウンセラー教員の配置 | 125

(8) 外国人講師の採用 | 126

(9) 生徒会最初の選挙 | 127

(10) 生徒の活動A | 128

(11) 運動会 | 131

(12) 音楽会 | 132

3 「紫のあと」の上演 | 132

(13) 教育内容の充実 | 135

(1) カリキュラムの変遷 | 135

(2) 校舎増築 | 138

### 三

#### 教養を求める女性たちへの貢献

148

#### 1

短期大学設置と基礎固め

148

(1) 短期大学制度の発足と

「跡見学園短期大学」の設置

148

(2) 第一回入学試験

150

(3) 第一回入学式

150

(4) 開学当初の教職員

150

(5) 初代文科長 橋純一

151

(6) 生活芸術科の増設

151

(7) 教職課程の設置

152

(8) 学生定員の増大

153

(9) 初代学長 跡見李子

153

(10) 学生会の発足と第一回学園祭

154

(11) 「短大卒業生の会」発足

155

#### 2

充実と発展

160

(1) 中央教育審議会の「四六答申」

160

(2) カリキュラム改革

161

(3) 新カリキュラムの見直し

162

(4) 第三代学長 中村崧雄

162

(5) 第四代学長 有富光子

163

(6) 昭和五十三年度の学年暦変更

163

(7) 学則の改正

164

(8) 第五代学長 久保貞次郎

165

(9) 充実する百人一首コレクション

165

(10) 卒業生の会の拡大

166

(11) 文科英文専攻課程の設置

166

(12) 事務局ならびに図書館業務の機械化

168

(3) 学園祭 | 139

(4) 加藤幸雄校長の就任 | 140

(5) 遠足・校外授業 | 141

(6) 自然教室の推移 | 142

(7) 生徒会規則の改定 | 143

(8) 生徒の活動 B | 144

(9) 教員の研修 | 145

(12) 専任教員の増強 | 155

(13) 教授会規程の制定 | 156

(14) 事務組織の整備 | 156

(15) 優先入学試験制度の発足 | 157

(16) 入学志願者の増加と受験科目の変更 | 157

(17) 百人一首と近代文学関係コレクション | 158

(18) 『跡見学園短期大学紀要』の創刊 | 159

(19) 第二代学長 飯野保 | 159

(20) 『桃李』の創刊 | 159

#### 四 社会進出をめざす女性に就いて

##### 1 大学の揺籃期とその基礎

- (13) 文科英文専攻の臨時的定員増 | 168
- (14) 第六代学長 鈴木幸夫 | 169
- (15) 第七代学長 田尻嘉信 | 170
- (16) 指定校推薦入学試験制度の導入 | 170
- (17) 活発化する海外研修旅行 | 171
- (18) 生活芸術科第一回卒業制作展の開催 | 172
- (1) 大学の揺籃期とその基礎 | 174
- (2) 新座校地の由来 | 174
- (3) 新座校地とその整備 | 177
- (4) 大学設置の策定から設置申請へ | 180
- (5) 校舎建設と増築整備 | 181
- (6) 大学開学と第一回入学式 | 183
- (7) 開学式の挙行 | 186
- (8) 英文学科の増設と教職課程等の設定 | 187
- (9) 学術刊行誌の開始とその歴史 | 188
- (10) 紫祭の誕生 | 190
- (11) 第一回卒業式の挙行とその時代 | 192
- (12) 飯野保学長の退任 | 193
- (13) 伊藤嘉夫学長の就任 | 194
- (14) 不言亭の移築 | 195
- (15) 交通環境の整備 | 196
- (16) 入学定員の変更と文化学科の増設 | 198
- (17) 創世の時代から転換の時代へ | 200
- 2 大学の整備充実と発展
  - (1) 蒲原春一学長の就任 | 201
  - (2) 新クラブハウス棟の完成 | 202
  - (3) 山崎一穎学長の就任 | 203
  - (4) グリーンホールの完成 | 204
  - (5) 大学主催公開講座の開始とその歴史 | 205
  - (6) 体育館の落成 | 207
  - (7) 一紫会の歴史と創設二〇周年記念事業 | 208
- 3 時代に応える大学への変貌
  - (1) 嶋田英誠学長の就任 | 210
  - (2) 情報処理室から情報メディアセンターの設置へ | 211
  - (3) 学生寮の移転と跡見学園学生寮の開寮 | 212
  - (4) 一八歳人口の急増・激減のための臨時的定員増への方策 | 214
  - (5) 和田英道学長の就任 | 215
  - (6) 新図書館の完成 | 216
  - (7) 海外語学研修の実施 | 218



(8) 短期大学および他大学との

単位互換制度の発足と交流の促進 | 220

(9) 新館(現二号館)の完成 | 221

15 跡見花蹊記念奨学金制度・

跡見学園育英資金制度のスタート | 259

16 一三〇周年記念事業 | 260

### 第三部 総合女子教育機関としての

#### 現在と未来

##### 一 新しい学園造りをめざす | 法人 | 229

1 跡見純弘理事長就任 | 229

2 跡見花蹊生誕一五〇年記念祝賀会 | 231

3 総合施設拡充計画 | 233

4 学園規程の整備 | 235

5 O A化の推進 | 236

6 理事長の企業訪問 | 237

7 学園将来構想の策定 | 239

8 広報委員会の設置 | 244

9 創立一二〇周年記念式典 | 245

10 四週六休制度の導入 | 247

11 学内LANの構築 | 248

12 進学説明会・就職懇談会の開催 | 250

13 職員人事の一本化 | 252

14 プロジェクトチームの結成 | 253

##### 二 飛躍への助走 | 中学校高等学校 | 264

1 旧校舎の解体から新校舎の建設へ | 264

2 竣工した新校舎 | 265

3 跡見講堂の竣工 | 267

4 小岩井篤校長の就任 | 269

5 海外語学研修の発足 | 271

6 目黒信夫校長の就任 | 272

7 パソコン実習室 | 274

8 生徒の活動(昭和六十二年以降) | 274

9 川島宏校長の就任 | 277

10 新たな行事 | 278

11 新たなカリキュラム | 279

12 中学入試の変遷(平成以降) | 282

13 平井毅校長の就任 | 283

##### 三 短期大学の向かうところ | 284

1 企画会議の発足 | 284

2 大学との単位互換協定 | 285

3	大学への優先編入学制度	285
4	「跡見学園女子大学短期大学部」	286
5	短大設置基準の大綱化	287
6	自己点検・自己評価の実施	288
7	入試制度改革	289
8	図書館利用サービスの拡大	290



花蹊の素描画より

9	短期大学の生涯学習	291
10	教員組織の改変	292
11	AO(アドミSSIONズ・オフィス)入試	293
12	第八代学長 白田紘の教育改革	293
13	第九代学長 山崎一穎の教育改革	295
<b>四 新たな大学像の模索へ</b>   298		
1	飯島周学長の就任	298
2	大学入試センター試験の導入と 大学入学試験の多様化	299
3	花蹊記念資料館の開館	300
4	山崎一穎学長の再就任	302
5	新学部の設立構想	303
6	文学部の改組と新学科の設立構想	305
7	文学部・マネジメント学部の開学	307
(1)	文学部人文学科	308
(2)	文学部臨床心理学科	309
(3)	マネジメント学部マネジメント学科	310
8	花蹊メモリアルホールと三・四号館の完成	312
9	大学院の開設	313
10	現在そしてさかんなる明日へ	315

資料編

歌

校歌「花桜」と生徒会会歌「泉の歌」 | 321

「紫の一もと」の原歌詞と伊藤嘉夫による自注 | 326

縁起

「<sup>えびぞめ</sup>葡萄染の滝」縁起 | 328

不言亭縁起碑文 | 330

構内図

新座キャンパス建物配置図 | 331

茗荷谷キャンパス建物配置図(昭和二十七年) | 332

茗荷谷キャンパス建物配置図(平成十二年) | 333

目録

記録・資料一覧(史料編纂室) | 334

A 花蹊(著作、筆写、記事など) | 334

B 式辞 | 336

C 女・中・高 教務 | 337

D 女・中・高 庶務 | 342

E 法人 庶務 | 345

F その他 | 349

参考文献一覧(史料編纂室) | 350

A 花蹊関連書籍(著書、伝記、評論) | 350

B 学園・花蹊関係人物とその著書 | 352

C 教育史・教育論 | 354

D (跡見)学園史 | 355

E その他 | 356

F 雑誌・定期刊行物 | 356

跡見花蹊関連書誌一覧(短期大学部図書館所蔵) | 362

参考文献一覧(大学) | 365

A 学内刊行物 | 365

B 学外資料(新座関係) | 366

名簿

学校法人役員 | 367

法人事務局職員 | 373

女学校教職員 | 377

中学校高等学校校役職者(昭和二十七年以降) | 379

中学校高等学校専任教員 | 381

中学校高等学校専任職員 | 385

短期大学部役職者 | 386

短期大学部科長・専攻主任 | 388

短期大学部専任教員 | 390

短期大学部専任職員 | 393

大学役職者 | 397

大学学科主任等 | 402

大学教員 | 403  
大学職員 | 406

女学校、高等学校卒業生数 | 411

短期大学部卒業生数 | 412

大学卒業生数 | 412

略年表 | 413

理事会決議録における女子大学校舎建設等に



花蹊の素描画より

係わる経費等について | 443

一九七七〜二〇〇二年 建物関係年表 | 441

主要写真・図表一覧 | 444

編集後記 | 446

## コラム

花蹊——尊攘派女志士 | 22

一三歳の女弟子の御前揮毫 | 32

漱石『吾輩は猫である』と跡見 | 45

跡見の紫は「いけえび(活海老)色」 | 50

「話の泉」に登場した跡見女学校 | 104

観世寿夫の指導 | 130

匠の卵 | 146

キャンパスから出土した縄文土器 | 178

キャンパスを彩る花々 | 199

跡見学園女子大学の桜 | 224

「いぎげんよう」について | 270

本文基本デザイン BRC

装丁 川並ケイ